

# 佐竹茂とML派

推薦の辞

菅 孝行（評論家、劇作家）

一九六三年秋、ML派を作ったばかりの佐竹茂から「読んでおけよ」と手渡された『マルクス・レーニン主義』創刊号の「諸雪彦論文」は、アジアへの膨張・侵略・列強間の争闘に乗り出した「日本帝国主義」の打倒こそ日韓闘争の責務だと說いていた。安保改定の三年後、勿論日本の自發的対米隸属が顕在化する遙か以前のことだ。

佐竹茂と私の出会いは一九六一年春、本郷の自治会室だった。そこに故郷から戻った佐竹茂がいた。目先の「数」ではなく「主流」の運動を目ざす氣宇壯大な理論構想力と、組織を闘争の手段としか考えない見事なまでの割り切りと、「革命的」と称する一切の思弁を不毛とするセンスは爽やかだった。その延長に「佐竹のML」は生まれた。

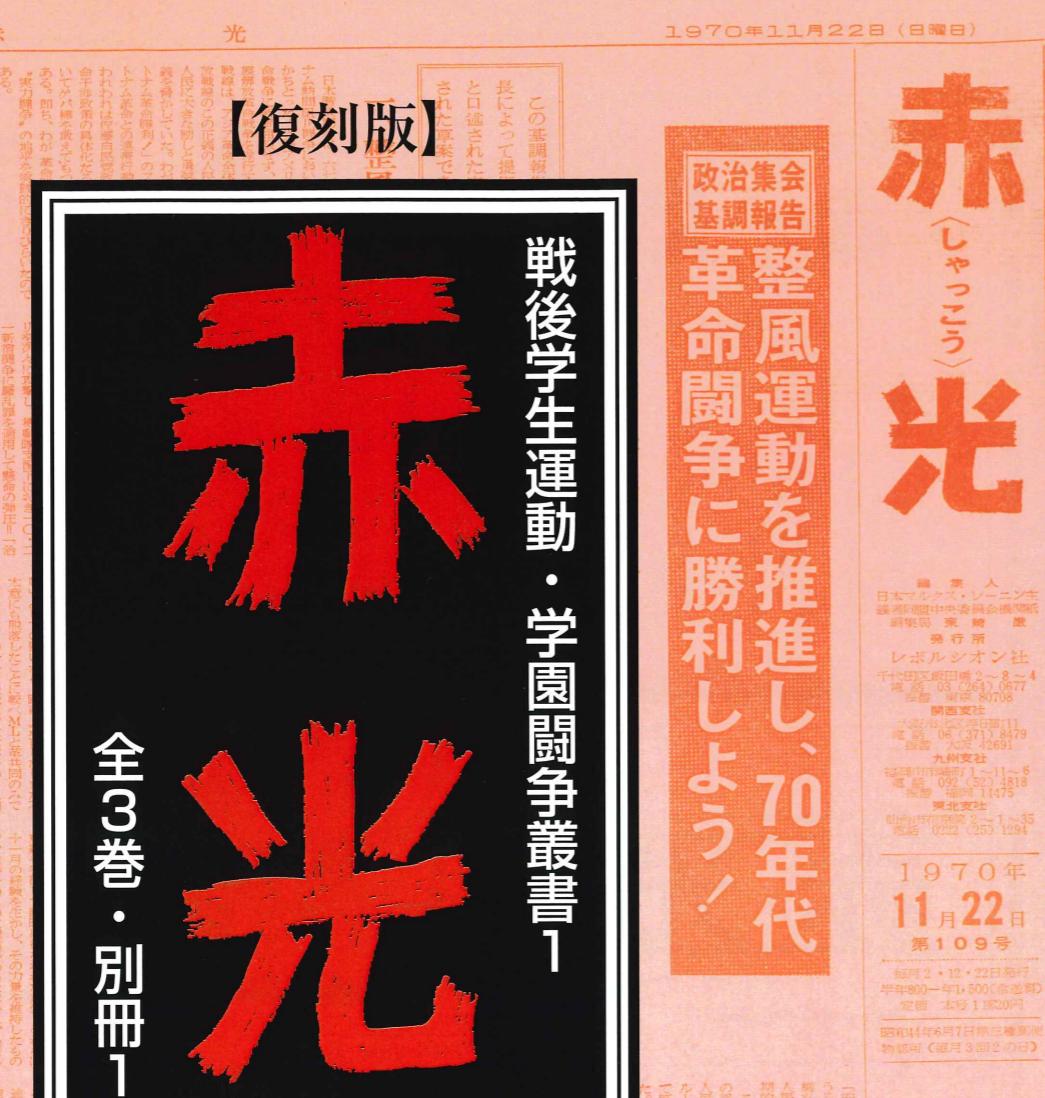
政暴法反対デモは前年の安保の一〇〇分の一だった。私がいた演劇研究会は集団でデモに出る本郷で唯一のサークルだったので、安保でノンボリだった私もデカイツラができた。この動員力が佐竹たち残っていた活動家と新参者の信頼関係の媒介ともなった。

七月のマル学同との訣別の後、社学同再建が進むと、一举に二次ブント再建にむけたくつもの党派形成が始まった。佐竹は最も果敢にその渦中に踏み込んだ。前衛党建設はもつと先、と考えていた私は、瞬く間に流れの外に吹き飛んでしまったので、六一年に就職した。

東映京都撮影所で『貞田風雲録』や『宮本武蔵 下がり松の決闘』などの、下つ端の演出助手をやつた。政治運動の情報を遠い潮騒のように聴いていた。そんな私に佐竹はくだんの論文を読ませたのである。

東京在住だったらオルグされてしまうだろう。

佐竹から論文を渡されてから、また時を経て、「文化大革命」の強い影響によってML派の理論が変わったと伝え聞いた。その時、組織内での佐竹の位置も変わったに違いない。佐竹茂の記憶は私に「最も十戒を守った君は、最も十戒を破った君だ」という「或阿呆の一生」の箴言を想起させる。これは芥川龍之介がレーニンに対していくたるものだが、復刻版『赤光』とその付録には、きっと佐竹と「十戒」の相剋の跡が刻まれている。文書で一九六〇年代の闘争の全てが判ると思うのは虚妄だ。だが、読まなければ何も判らない。



## 戦後文化運動雑誌叢書15

『学生評論・季刊大学・大学』全10巻・別冊1

表示価格はすべて税別

## 関連図書のご案内

- 編集・解説＝中西直樹（龍谷大学教授）  
○推 薦＝西山伸（京都大学教授）  
○体 裁＝A5判・B5判・上製・総約4,040頁  
○本体価格2,500円+税 ISBN978-8350-8354-4

- 本体価格2,000円+税 ISBN978-4-8350-8341-4

- 第1回配本・全3巻  
本体57,000円+税 ISBN978-4-8350-8345-2

- 第2回配本・全3巻+別冊1  
本体57,000円+税 ISBN978-4-8350-8349-0

- 第3回配本・全4巻 (2020年11月刊行予定)  
本体80,000円+税 ISBN978-4-8350-8349-2

- 別冊『戦後学生雑誌と学生運動』(第2回配本)にも含む。分冊可  
A5判・並製・約290頁

- 本体価格2,500円+税 ISBN978-8350-8354-4

- 戦後文化運動雑誌叢書11  
『学園評論』全9巻・付録1・別冊1  
題＝中西直樹  
○解 説＝西山伸  
○推 薦＝宇野田尚哉・西山伸  
○体 裁＝A5判・上製 総約4,230頁  
○本体価格2,170,000円+税 ISBN978-4-8350-7009-4

- 第1回配本・全3巻  
本体51,000円+税 ISBN978-4-8350-7000-1

- 第2回配本・全3巻+別冊1  
本体51,000円+税 ISBN978-4-8350-7004-9

- 第3回配本・全4巻  
本体68,000円+税 ISBN978-4-8350-7004-8

- 別冊II解説・総目次・索引 (第2回配本)にも含む。分冊可  
本体価格2,000円+税 ISBN978-4-8350-7014-8

## 不一出版

TEL 03-5998-1167 FAX 00160-2-940604

振替

11120000

東京都文京区水道2-1-10-10

郵便番号112-0000

郵便局名

